

# HOPE<sup>plus</sup>

【市立芦屋病院だより】



## あしやホスピタルフェスタ2013の開催について

芦屋病院では、今秋「あしやホスピタルフェスタ2013」を開催します。

ホスピタルフェスタは芦屋病院の職員が企画した様々なイベントやブースを通して、楽しみながら当院の診療機能や取り組みについて知っていただく事を目的とした催しです。

当日はAED・人工呼吸器の体験会、救急車への乗車体験、血管年齢・骨密度測定等の検査体験コーナー、ミニ公開講座、病気や治療法のパネル展示コーナー、その他当院のマチネコンサートでもおなじみの金澤佳代子氏によるコンサートなど子供から大人まで幅広い世代の皆様楽しんで頂ける企画を準備しています。ぜひ、皆さんお誘いあわせの上、ご参加ください。(詳しい内容については当院ホームページをご覧ください)



## あしやホスピタルフェスタ2013

**開催日** 平成25年11月17日(日) 10時~16時 参加費無料

**場所** 市立芦屋病院 ※当日は、病院ネットワークバスも臨時運行します。

ホスピタルフェスタに関するお問い合わせは…

市立芦屋病院 経営企画室 0797-31-2156

皆様のお越しをお待ちしております!



9月より

消化器内視鏡救急を実施しています!

当院では、9月より平日の昼間(9時~17時)に加えて、毎週火曜日の夜間(17時~翌9時)に限り消化器内視鏡救急を開始しました。

消化器内視鏡救急は当院の消化器内科の医師が救急対応を行い、緊急時における胃カメラ等の内視鏡検査が可能となります。(患者さんの状態に応じて、入院後翌日の検査となる場合もあります。)

当院の救急外来は、「翌日まで待てない状態の急病患者さん」への一時的な応急診療を行うためのものであり、夜間の診療機関ではありません。「夜までやっているから」といった安易な感覚での受診はご遠慮ください。ご理解、ご協力をお願いします。



# 芦屋病院 がん特集 Vol.3

## 緩和ケア Q & A

### Q1:緩和ケアとは何ですか？

病気を持っているといろんな苦痛がでできます。それは身体のことであつたり、仕事のことであつたり、いろんなことに及ぶと思います。そんな苦痛と一緒に考え、解決したいというのが緩和ケアです。今まで医療は病気を治すことに精一杯でした。そのおかげでいろいろな治療ができるようになり、かなりの病気が治るようになりましたね。病気と長く付き合う患者さんたちも増え、それぞれに悩みも増えて来たのだと思います。医療者も治すこと以外の悩みにも応えなくてはならなくなりました。身体的な苦痛もその一つです。その他のいろんな苦痛も和らげたいと願って、医療者も取り組むようになったのが、緩和ケアです。日本では緩和ケアというところががんだけというイメージがありますが、その他の病気にも当てはまります。特にがんと診断されたらいろんな悩みが一度にやってくるので、患者さん、ご家族の心の苦しきも大きいと思います。がんと診断された時から緩和ケアも一緒に受けていただいて、少しでも苦しきを小さくしてほしいです。緩和ケアはチーム医療に取り組んでいますので、医師・看護師だけではなく、栄養士、薬剤師、理学療法士、ソーシャルワーカーなど、患者さん、ご家族を中心に、多職種で一緒に考え治療をしたり、相談にのっています。がんの治療は手術、化学療法、放射線治療と言われていますが、緩和ケアもがん治療のひとつと考えていいのではないのでしょうか。

### Q2:緩和ケア病棟はどんなところですか？一般病棟との違いは何ですか？

一般病棟との大きな違いは、手術など外科的治療や抗がん剤治療は行わないことです。他の一般的な治療、たとえば肺炎の治療、血糖のコントロールなどはもちろんのこと、痛みやその他の身体的症状を軽減する治療は積極的に行っています。がんをやっつけようとする臨戦態勢の病棟ではありませんので、ゆっくりと体調を整え、まず患者さんが生きる力を持っていただくことを優先しています。全個室にしているのもそのためです。病棟にはピアノがあるサロンがあり、コンサートも時に行われます。ボランティアさんたちがお花を飾ってくれたり、お茶をサービスしてくれたり、日常を少しでも感じられる病棟作りを行っています。入院されてから、また治療をしたいとか、お家に帰りたいという方もおられます。緩和ケア病棟では、がんという病気とともにこれからどんな人生を送っていくのかということを考えていただければと思います。そのためのお手伝いをさせていただきます。



クリスマス  
イベントの  
様子

### Q3:緩和ケアを受けるには、患者本人が病名や病状を知っている必要がありますか？

緩和ケア病棟入院時に、病名・病状を理解していることが望ましいと考えています。

そのため、患者さんが知りたいと考えておられる内容を状況に応じてご説明させていただくことをご了承ください。私たちは何よりも、患者さんの思いや考えを尊重し、自分らしく生きることをご家族とともに精一杯サポートしていきたいと考えています。

## 緩和ケアに関するご相談は地域連携室へ!

緩和ケアについて相談したい、緩和ケア外来を受診したい、料金について詳しく知りたいなど緩和ケアに関するご相談は外来棟3階 地域連携室へお尋ねください。お電話でのご相談もお受けしています。

市立芦屋病院 地域連携室

TEL 0797-31-2156

(受付時間：平日月～金曜日 午前9時～午後5時)

### 緩和ケア外来受診について

緩和ケア外来は完全予約制となっております。受診希望の方は地域連携室へお問い合わせください。

受診の際には現在かかられている医師の診療情報提供書、直近の画像データ、検査データが必要となっておりますのでご準備をお願いします。

外来受診時はご本人のみでなく、なるべく付添いをお願いします。ご本人がお越しになれない場合は、ご家族のみの受診でも可能ですが、必ず患者さんの病状について把握されている方の来院をお願いします。

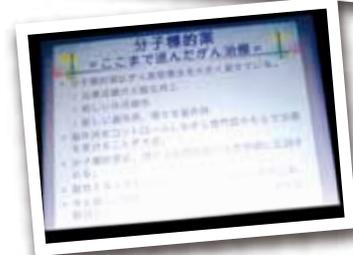
## がんフォーラム2013

### 「ここまで出来る!最新のがん化学療法」を開催しました

9月7日(土)に芦屋市民センタールナ・ホールにて『がんフォーラム2013』を開催しました。今年の講演テーマは「ここまで出来る!最新のがん化学療法」であり、前半は当院の血液・腫瘍内科の松梨部長によるがん化学療法についての講演を行い、その後薬剤科の岡本部長より抗がん剤の副作用に対する薬剤療法について講演を行いました。後半は特別講演として神戸大学大学院教授、南博信先生をお招きして分子標的薬を中心に、めざましく進歩するがん治療について講演いただきました。

当日は雨の中約250名の方が参加され、参加者の中には現在がん治療を行っている患者さんやその家族もおられ、演者への質問コーナーでは自身の経験や病気に対する不安等を交えながら多数のご質問をいただきました。

参加者へのアンケートでは、「がんフォーラムの開催により最新の医療情報が分かり、治療への希望につながっている。がん患者のために継続して行って欲しい」といったご意見を多数頂きました。今後もがん患者さんの治療の一途になれるよう、企画し引き続き開催したいと考えています。



新聞や書籍で得た知識しかなかったので、専門家から系統立てた講義を聞くことが出来てとても勉強になりました。専門的な事項については今一度の説明だけでは、充分理解しきるのは無理ですが、今回の話を機会にこれから学びを深めていきたいと思えます。

新しい治療薬の話はこれまでの抗癌剤治療のイメージを一新させました。

副作用は恐ろしいですが、新しい薬が出てきているので少し安心しました。特別講演はとても判り易く癌になっても前向きに治療を受けようと思えます。

### 来場者へ行ったアンケートより ～ご意見・ご感想～

(※一部抜すい)

医学の進歩と共に分子標的薬を使用する事によって、差はあれど、少なくとも生存率が伸びた事はよく判りました。これからも延命ではなく癌と共存してますます笑顔で戦える薬ができる事を希望します。副作用についてはすぐ役に立つお話でした。

今治療中ですが、薬が新しくなってきたのが良くわかって希望が湧きました。



## 検診を受けましょう!!

### 乳がん検診(マンモグラフィ併用)

- 対象** 40歳以上の女性市民
- 内容** 問診、触診、マンモグラフィ
- 日時** 平日 月～金曜日の午前中(予約制)
- 料金** 2,000円(70歳以上は無料)

乳がん検診は30～39歳の女性を対象とした問診・触診のみのコースもあります(料金:400円)

10月は「乳がん月間」に設定されており、例年全国各地で乳がん早期発見啓発活動が展開されています。当院では乳がん検診と併せて子宮がん検診の受診もすすめています!!

### 子宮がん検診

- 対象** 20歳以上の女性市民
- 内容** 問診、細胞診検査
- 日時** 平日 月～金曜日の午前中(予約制)
- 料金** 1,000円(70歳以上は無料)

### 1日人間ドック

当院の人間ドックは成人病検診とがん検診を充実させた精度の高い「人間ドック」を提供しています。年に1度は受診し、自身の健康チェックをお勧めします。

#### 検査項目

身体検査、尿一般、便潜血、血液一般、肝炎ウイルス、血液化学(肝機能、腎機能、膵機能、糖質・脂質検査、HbA1c、内分泌検査)心電図、腹部超音波、眼科検診、聴力検査、上部消化管(胃)検査(胃内視鏡又は胃透視)、胸部CT又は胸部単純X線、腫瘍マーカー検査(CA19-9、CEA、PSA(男性のみ)、CA125(女性のみ))、婦人科検診(超音波、子宮癌検診)、乳がん検診(マンモグラフィ)

**検査料金** 男性 50,000円 女性 50,000円

※35歳以上の芦屋市国民健康保険・後期高齢者医療制度加入者は25,000円の助成を受けられる場合がありますので、芦屋市役所保険課管理係までお問い合わせください。

**オプション検査** 脳ドック(頭部MRI検査と脳神経外科医による問診) 25,000円  
ピロリ菌検査(便) 1,500円  
胃がんハイリスク検査(血液検査) 3,000円

管理栄養士の考えたおいしい昼食付プランです!

### 胃がんハイリスク検診

※胃がんになるリスクを血液検査で調べる検診です

**対象** 20歳以上の方  
(特に40歳以上の方に)  
お勧めします

**内容** 採血  
**日時** 平日 月～金曜日の午前中  
**料金** 4,500円

## インフルエンザワクチンについて

小児科 森田 拓

いよいよ暑さが止み、涼しい秋がやってきました。もうすぐ風邪や胃腸炎など様々な感染症の流行する冬も間近です。その中でも特にインフルエンザは重い症状をきたす感染症です。インフルエンザは伝染力が強く、高熱、咳、嘔吐などの症状が続きます。高齢者の方では肺炎を、小さいお子さんでは肺炎に加え熱性痙攣、そしてかなり頻度は少ないですが脳症を起こすことがあります。お薬としてはタミフル、リレンザやイナビルなどがありますが、何よりも予防が大事です。外出後の手洗いとうがい、そして出来ればワクチンの接種をお勧めいたします。接種を受けてからインフルエンザに対する抵抗力が

つくまでに2週間程度かかり、その効果は約5ヶ月持続するといわれています。インフルエンザが流行する前の12月上旬までに接種を受けておくことが望まれます。ワクチンを接種することで大人の方では70～80%インフルエンザを予防できるとされています。幼少児ではこれより低くなりますが現時点では最良の予防策です。65歳以上の方では接種に関して市から補助が受けられます。当院でもインフルエンザワクチン接種を秋から開始いたしますので是非ご利用下さい。



## 病院食のこれから

栄養管理室

病院食ときいてみなさんの脳裏にはどのようなお食事が思い浮かびますか？

「大盛りの料理・冷たい・おいしくない」といったイメージをお持ちの方も多いかもれません。実は学生時代の私の感想なのです。

あれから20数年が経過、病院食は進化しました。昨年以降、病院食のレシピ本が多数出回っています。実は、多くの病院が患者さんの病状や食事形態に対応し、衛生管理・安全管理はもちろん、①温度管理②季節感③選択食④特別メニュー⑤個別対応を導入し、ありきたりでない「家庭的な・温かい・おいしい」病院食の実現に向けて取り組んでいます。

市立芦屋病院では、①平成24年6月に念願の温冷配膳車を導入し、適温での提供が充実しました。②毎月行事食を取り入れ季節感を演出しています。③朝食はパンとお粥から選択できますし、週2回夕食の主菜を選んでいただくことができます。④平成25年度からは特別メニューの導入も開始しました。⑤摂取量が不足している患者さんへ栄養士が訪問し、食べやすい食事に変更し栄養状態の改善をはかります。

一方では、食事があわず様々なお意見をいただくこともあり、貴重なご意見として給食委員会を通じ献立等に反映させるようにしています。

病院食をこれからもよりよいものにするために、たくさんのご意見を頂きたいと考えています。



## 消防訓練を行いました ～安全・安心な病院をめざして～

医療安全推進室

6月27日、芦屋病院がグランドオープンして初めての消防訓練を、芦屋市消防署の協力・指導のもと、職員50名が参加し行いました。

消防訓練は患者さんや職員の生命と安全を守るため、従来から年に2回実施してきたところです。今回は、訓練を3部に分け、1部は夜間の火災を想定し消防署への通報、初期消火、避難誘導、逃げ遅れ患者さんの確認を行い、2部は取り残された患者さんをはしご車を使いベランダから救出という非常事態を想定し実施しました。3部として消火器取り扱い訓練を参加者全員で行いました。訓練は滞りなく終了し、最後に消防署員の方から、人命のため日頃の訓練の大切さについて重みのある講評をいただきました。

新病棟は耐火、耐震構造が強化された建物で、火災感知器やスプリンクラーなどの設備も適切に配備されています。しかし、地震などでこれらの設備が機能しない場合も想定されます。特に、患者さんの避難誘導は、職員の適切な判断と行動で行わなければ、患者さんの生死を分けることにつながります。今後も全職員が安心・安全な病院をめざして、災害時の対応に関する意識を高めるとともに災害対策の整備・強化を図ってまいります。



## 地域医療 まもり隊

### 宮崎内科クリニック

宮崎 睦雄 先生

こんにちは、平成15年に国道2号線沿いの打出春日町バス停傍にあるビルの2Fで、内科クリニックを始め今年で10年になります。住民の方々の健康を増進し、どんな疾病があっても安心して年を重ねながら自宅で過ごせる地域づくりを目指して、微力ながらお役に立てればと医業の修養を心がけております。市立芦屋病院には、いつも急な肺炎等で緊急入院をお願いしておりますが、必ず快く受け入れていただき心から感謝しております。また、緩和ケア病棟には多くの方がお世話になり、本人やご家族の方に、末期の選択として自宅か病院かを選ぶのは、最後の最後まで考えていただいていた方がいいんだよと提案できることが本当にありがたく思います。更に年に数名、芦屋病院の研修医の先生が、各々2週間当院へ来ていただき一緒に往診をさせていただいておりますが、若い気力に触れ、わが身も初心に立ち返ることができるのがとてもうれしく思います。今後とも市民病院のバックアップを受けながら地域に根ざした医療をしていきたいと願っておりますので、ご支援ご指導よろしくお願い申し上げます。



### メイプルこどもクリニック

小幡 一夫 先生

昨年10月に故郷に近いこの芦屋市の岩園町で小児科を開業させていただきました。

しかし、長く離れていたこの地域で重症のお子さんを拝見するたびに、どこに二次医療をお願いしてよいものかと、途方にくれることばかりでした。そんな時、いつも暖かく対応していただき、待合室で不安そうに紹介先を待っているご家族をサポートしてくださるのが芦屋病院です。

芦屋病院の先生方には、いつも極めて丁寧なフィードバックを頂き、密な連携で患者様の安心感が、ひとしお強いものとなっているとともに、私共も大変勉強させていただいております。

今後とも芦屋病院の支えのもと、地域のかかりつけ医としての役割を担って参りたいと思っております。どうぞよろしくお願い申し上げます。



## かかりつけ医を持ちましょう!

「かかりつけ医」(ホームドクター)とは、日頃の健康相談や病気の初期治療、慢性疾患の治療などを行う診療所やクリニックの医師を言います。

かかりつけ医は、日常的な病気の予防や治療、健康管理を行います。より専門的な検査や治療が必要と判断した場合は患者さんの病状に応じて、当院をはじめ適切な病院を紹介してくれます。

紹介の場合、かかりつけ医が紹介先の医師宛に紹介状(診療情報提供書)を作成します。この紹介状があることで、これまでの病状や治療内容、服用しているお薬の情報が分かり、よりスムーズな診療が可能になります。さらに、かかりつけ医に受診することで、当院の地域連携室を経由し診察や検査の予約をスムーズにお取りすることができます。

その後、当院での専門的治療が終了し、症状が安定した場合は、かかりつけ医へ逆紹介させていただき患者さんは継続的な治療を引き続き受けることができます。

日頃から自分自身や家族をよく知っている「かかりつけ医」を持つことは、とても大切です。ぜひ、かかりつけ医を持ち普段からの健康増進に役立てましょう。



## 10月の院内の催し・各教室のご案内

## 芦屋病院マチナーコンサート

- 日時** 10月20日(日) 14時30分～
- 会場** 外来ホール 黄色いピアノ前
- 出演** 手話歌グループあしあの皆さま  
加藤純子(歌)、金澤佳代子(ピアノ)
- 内容** ～指先からこぼれるメロディ～

## 両親学級 ※毎月第2土曜日開催

- 日時** 10月12日(土) 10時～12時
- 場所** 3階東病棟
- 内容** お産の経過・赤ちゃんのお風呂
- 対象** 妊娠22週以降の妊婦とパートナー・5組
- 問い合わせ先** 産婦人科外来(電話は13時～16時)

## ▲ ▼ ▲ ▼ ▲ ▼ ▲ ▼ 糖尿病教室のご案内 ▲ ▼ ▲ ▼ ▲ ▼ ▲ ▼ ▲ ▼

当院では、糖尿病治療の一助になるよう毎月「糖尿病教室」を開催しております。教室では医師、看護師、糖尿病療養指導士、管理栄養士、薬剤師等のスタッフが食事療法や運動療法、正しい糖尿病薬の使用方法についてお話しさせていただきます。

糖尿病をお持ちの方やそのご家族様もぜひ一緒にご参加ください。生活習慣病は継続が何より大切です。

- 日時** 毎月第2金曜日  
13時30分～15時



- 場所** 2階病棟 講堂1



日程	内容	講師
10月11日(金)	消化管疾患と糖尿病 糖尿病の検査について	医師・臨床検査技師
11月8日(金)	ミニイベント～合併症体験会～ 糖尿病と歯周病 糖尿病と合併症	※13時に外来棟3階耳鼻咽喉科前に集合してください。 山内歯科口腔外科 山内義之先生 糖尿病内科部長 紺屋浩之
12月13日(金)	あなたは大丈夫? シックデイ・SMBG・ごちそう対策	看護師・臨床検査技師・管理栄養士

## 秋の『公開講座』のご案内

秋の公開講座のテーマが決まりました。毎回人気の整形外科の講座や今年の4月に新しく着任された進藤先生の講座も開催します。ぜひ、気軽にご参加ください。

**問い合わせ先** 芦屋市立公民館 (0797-35-0700)



- 場所** 芦屋市民センター401号室
- 時間** 午後2時～午後3時30分
- 料金** 1回 200円

日程	内容	講師
10月12日(土)	中高年から増える女性特有の疾患 ～骨盤臓器脱と尿漏れ～	産婦人科部長 木村 俊夫
11月9日(土)	ロコモティブ症候群ってなんだろう?	整形外科主任医長 表 一岐
12月7日(土)	病気になったら ～身体とこころの辛さを和らげよう～	緩和ケア内科部長 進藤 喜予

# 事業管理者のつぶやき

市立芦屋病院 事業管理者 佐治 文隆

## ◆ ◆ ◆ 笑状を診察する ◆ ◆ ◆

大阪大学のルーツは、1838年に緒方洪庵によって開かれた私塾「適塾」です。大阪仮病院、大阪医科大学を経て、1931年に医学部・理学部の2学部で開校した大阪帝国大学は、東京帝大や京都帝大など官主導の大学と異なり、大阪府民の熱烈な活動が帝国議会の反対を押し切った民主導の大学です。第二次世界大戦後、1949年に新制大阪大学が発足する際に法文学部が加わりましたが、この時大坂商人のための学問所「懐徳堂」の伝統が継承されました。「適塾」創設をさかのぼること約百年の1724年創立の「懐徳堂」の精神は、戦火を免れた蔵書「懐徳堂文庫」とともに大学に受け継がれました。

「懐徳堂」を冠に据えた「大阪大学 21世紀懐徳堂」(学主 江口太郎副学長)という公開講座シリーズがあります。そのひとつ、「笑状を診察する落語会」が阪大発祥の地、中之島で開催されました。無料整理券がすぐ無くなった人気のイベントです。笑福亭たま、桂文喬、笑福亭福笑の三人がそれぞれ医療にまつわる新作落語で笑いを取ります。阪大病院で新米研修医にいじりまわされる晰、まな板のコイ状態の入院体験をおもしろおかしく見せる晰などです。たま師匠の演目「胎児」では、高座にふつうに座った状態では逆子(さかご)になるからと、座布団を頭に逆立ち状態で産道の胎児を熱演する始末です。終了後、主催者から「産婦人科医としてどうでしたか」と感想を求められ、返事に困りました。

第二部では、久坂部羊(阪大医学部卒医師、小説家)、仲野徹(阪大医学部教授)、高島幸次(阪大コミュニケーションデザイン・センター教授)諸先生の鼎談に、笑福亭福笑師匠が加わり、座談(漫談?)会となりました。久坂部、仲野両先生は同級生で、優等生仲野と落ちこぼれ久坂部の設定で、中之島で過ごした昭和の医学生青春回顧で盛り上がりました。医学部のウラ標本室で見たおどろおどろしい奇形標本の数々、ヤクザの遺体から剥いだ全身俱利伽羅紋の刺青皮膚標本、人体解剖実習などの業界裏話をはじめ、「卒業試験はカンニングで」、「〇人殺さんと一人前の医者にな

れん」・・・恐ろしいジョークが飛び出していました。医師仲間との冗談話では珍しくない内容ですが、素人さんの一般市民はどう思ったことやら。座談会の仕切り役の高島先生も「今の阪大はこんなことありません」と唾然、福笑師匠までがあわてて「これはフィクションですから」と付け加えるくらいで、もっとも顔色を失ったのは懐徳堂学主の江口副学長だったかも知れません。会場の爆笑に包まれ、いい暑気払いが出来た一日でした。

懐徳堂落語会に前後して、立川団春独演会に行きました。こちらは江戸古典落語「子別れ」を約1時間半にわたって、じっくり聞かせてくれました。腕は良いが酒乱の大江熊五郎が、愛想を尽かして息子を連れて出て行った女房と復縁にいたるまでの人情斬です。昨年聞いた「ねずみ穴」もまた人情斬でしたが、さすが「今もっともチケットの取れない落語家」と言われるだけあって、人情斬の語り口のうまさは秀逸の斬家と痛感しました。同時に、いつも出てくる立川談志の思い出を聞くにつけ、偉大な師匠を持った弟子の葛藤も窺えます。

江戸落語に上方落語、古典落語に新作落語が入り乱れる落語ブームの昨今、医療がお笑いの対象となることは、とかく深刻になりがちな病人の気持ちを和らげ、患者さんと医療者の垣根を取り払ってくれそうです。



事業管理者のつぶやきについてはホームページにも連載しておりますのでぜひご覧下さい。

**市立芦屋病院 ご案内**

----- 交通案内 -----

JR 芦屋駅、  
阪急芦屋川駅から

	<b>タクシー</b> 約5分
	<b>バス</b> 約15分 JR 芦屋駅、阪急芦屋川駅 のりば2番
	<b>徒歩</b> 約30分

※ 病院ネットワークバスもご利用下さい(無料)

**市立芦屋病院の理念**

**基本理念**  
生命の尊厳を基本とし、安全で良質な医療を提供します  
芦屋市の中核病院として、地域社会に貢献します

**経営理念**  
あい(愛)・しあわせ(幸せ)・やさしさ(優しさ)

日本病院機能評価機構 認定施設 (ver. 6.0)

**市立芦屋病院**

〒659-8502 芦屋市朝日ヶ丘町39-1  
TEL:0797-31-2156 FAX:0797-22-8822  
ホームページ <http://www.ashiya-hosp.com>